

			課長		課長補佐		係長		係長		検算		担当	
工 事 名	令和8年度 県民豊科運動広場照明取替工事											<b>金抜き設計書</b>		
施 工 箇 所	安曇野市 豊科県民運動広場													
設 計 概 要							施 工 方 法				請 負			
県民豊科運動広場の照明の更新工事 ・照明のLED化工事 ・既設照明塔の改修 ・上記工事に伴うキュービクルの改修							施 工 期 間				日 間			
							契 約 年 月 日				令 和 年 月 日			
							竣 工 予 定 年 月 日				令 和 9 年 3 月 23 日			
							契 約 保 証 方 法				金 銭 的 保 証			
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
<b>令和8年度 県民豊科運動広場 照明取替工事</b>						
内 訳 書						
A 共通仮設費		式	1			
B 電気設備工事		式	1			
純工事費計						
現場管理費		式	1			
一般管理費等		式	1			
工事価額計						
消費税相当額		式	1			10%
設計工事費合計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
A 共通仮設費						
共通仮設	率仮設	式	1			
〈率仮設 計〉						
〈積上げ仮設〉						
仮囲い	ロードフェンス H1800 存置3ヶ月間 掛払・修繕・運搬・撤去処分共	m	29			
キャスターゲート		か所	1.0			
乗入れ敷板養生費	樹脂製敷板 存置期間3か月程度	m <sup>2</sup>	110.0			
グラウンド敷板養生費	鉄板敷板 厚22 存置期間3か月程度 移動共	m <sup>2</sup>	80.0			
高所作業車	作業床高27m程度	日	90.0			
重機	25tラフタークレーン オペ共	日	30.0			
交通誘導員(B)		人	30.0			
〈積上げ仮設 計〉						
A-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 電気設備工事						
B-1 受変電設備		式	1			
B-2 電灯設備		式	1			
B-3 撤去工事	(産業廃棄物処理費含む)	式	1			
B-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-1 受変電設備						
高圧負荷開閉器	SOG7.2KV200A VT・LA内蔵DGR付	基	1.0			
既存受変電設備改修	<内訳>	式	1.0			
(屋外キュービクル3面体)	高圧LBS交換					
	PFヒューズ交換					
	手圧盤電圧計交換					
既存受変電設備再塗装費		式	1.0			
受変電設備結線費		式	1.0			
電力会社	引込開閉器の操作	式	1.0			
検査費	委託保安会社	式	1.0			
申請手続き費		式	1.0			
B-1 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2 電灯設備						
B-2-①	P-1柱	式	1.0			
B-2-②	P-2柱	式	1.0			
B-2-③	P-3柱	式	1.0			
B-2-④	P-4柱	式	1.0			
B-2-⑤	A柱	式	1.0			
B-2-⑥	B柱	式	1.0			
B-2-⑦	E柱	式	1.0			
B-2-⑧	F柱	式	1.0			
B-2-⑨	G柱	式	1.0			
B-2-⑩	H柱	式	1.0			
B-2-⑪	試験調整費	式	1.0			
B-2 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-①	P-1柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
B-1-① 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-②	P-2柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-2	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
B-2-② 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-③	P-3柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
B-2-③ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-④	P-4柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
B-2-④ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑤	A柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設備 取付込	式	1.0			
B-2-⑤ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑥	B柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-2	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設備 取付込	式	1.0			
B-2-⑥ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑦	E柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設備 取付込	式	1.0			
B-2-⑦ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑧	F柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-2	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設 備取付込	式	1.0			
B-2-⑧ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑨	G柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-2	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設 備取付込	式	1.0			
B-2-⑨ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑩	H柱					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	90.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	50.0			
厚鋼電線管	G54	m	18.0			
同上 塗装		m	18.0			
照明器具 A1	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	5.0			
照明器具 A2	LED投光器 1000形 光害対策電源内臓	個	10.0			
照明制御盤L-3	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	1.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台 避雷針設 備取付込	式	1.0			
B-2-⑩ 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2-⑪	試験調整費					
照度測定費		式	1			
B-2-⑪ 計						

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-3 撤去工事	(産業廃棄物処理費含む)					
<内訳 参考数量>	以下、すべて再使用しない					
高圧負荷開閉器	AOG7.2KV 100A (地絡方向継電器共)	基	1.0			
受変電設備機器撤去	(内訳)高圧LBS	基	1.0			
	PFヒューズ交換 3本					
	手圧盤電圧計交換 1個					
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	m	900.0			
〃	EM-CE3.5sq-3C 露出	m	500.0			
厚鋼電線管	G54 露出	m	180.0			
照明器具	水銀灯投光器 1000形 安定器共	個	150.0			
投光器具取付架台	アングル75 特注架台	組	6.0			
グラウンド照明制御盤	鋼板製 屋外形 コンクリート柱取付	面	10.0			
<産業廃棄物処理費>						
解体廃材積込	混合屑 人力積込	t	8.0			
解体廃材運搬	混合屑 DT2・4t積 片道概30km程度	t	8.0			
解体廃材処分	混合屑	t	8.0			
ランプ処理費	水銀灯・蛍光灯	式	1.0			
B-3 計						

位置図  
令和8年度 県民豊科運動広場照明取替工事



# 現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

## 1. 件名（工事名称）

令和8年度 県民豊科運動広場照明取替工事

## 2. 工事場所： 安曇野市 県民豊科運動広場

2. 工事概要：
- ・ 県民豊科運動広場照明の LED 化工事
  - ・ 既設照明塔 10 基を改修
  - ・ 上記工事に伴うキュービクルの改修

## 4. 工期： 契約日から令和9年3月23日

## 5. 一般事項について

### (1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

### (2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管

理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手は冬季閉鎖中の 11 月以降とすること

また工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講ずること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

#### (8) 残土関係

本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

##### ○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(9) この工事は執務並行型の工事である。

(10) 本工事は、「安曇野市週休 2 日工事実施要領」の通期の週休 2 日工事の対象である。

#### 7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

#### 8. 安全対策関係

##### ①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第 4 条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

##### ②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期す

ることができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

#### 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

#### 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

#### 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

#### 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合

は、監督員と協議するものとする。

- (3)足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。  
(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。  
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。  
(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。  
②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。  
③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。  
④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。  
⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。  
⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。  
⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~  
~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~  
~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶~~

~~出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

①アスベスト材料の種別

②アスベスト形状、飛散可能性の有無

③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシュラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

##### ○添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。
  - イ. 完成写真を公表すること。
  - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

#### 24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあつては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあつては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため

必要な情報を合わせて通知すること。

## 25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

[変更請負額] = {[変更設計工事価格] × [当初請負比率]} ※1 + [消費税相当額]

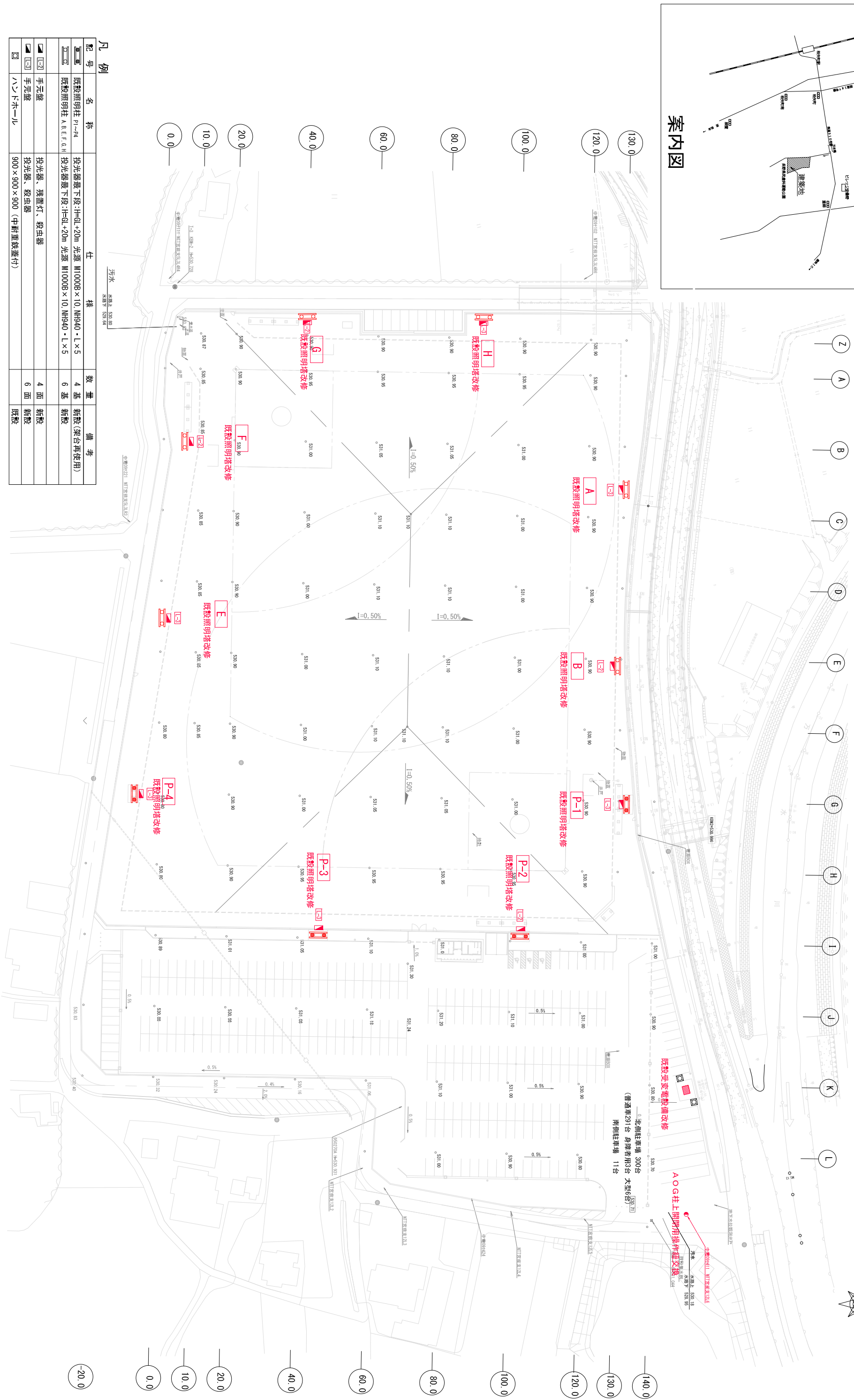
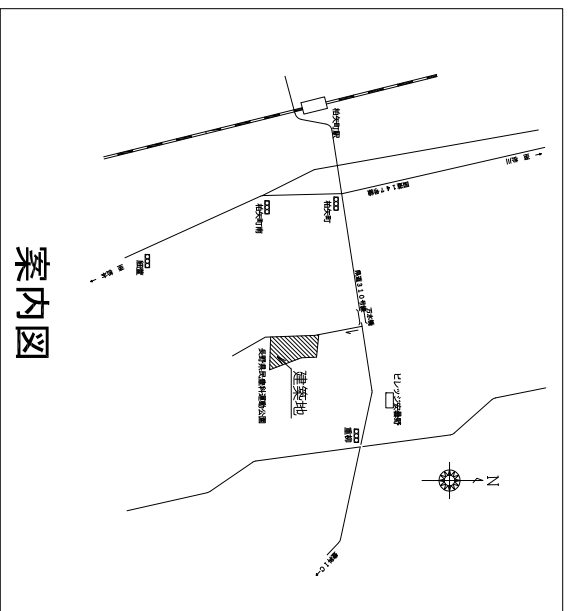
当初請負比率 : [当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額] / [当初設計額の工事価格]

※1 有効桁上位4桁、5桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和8年4月1日適用版

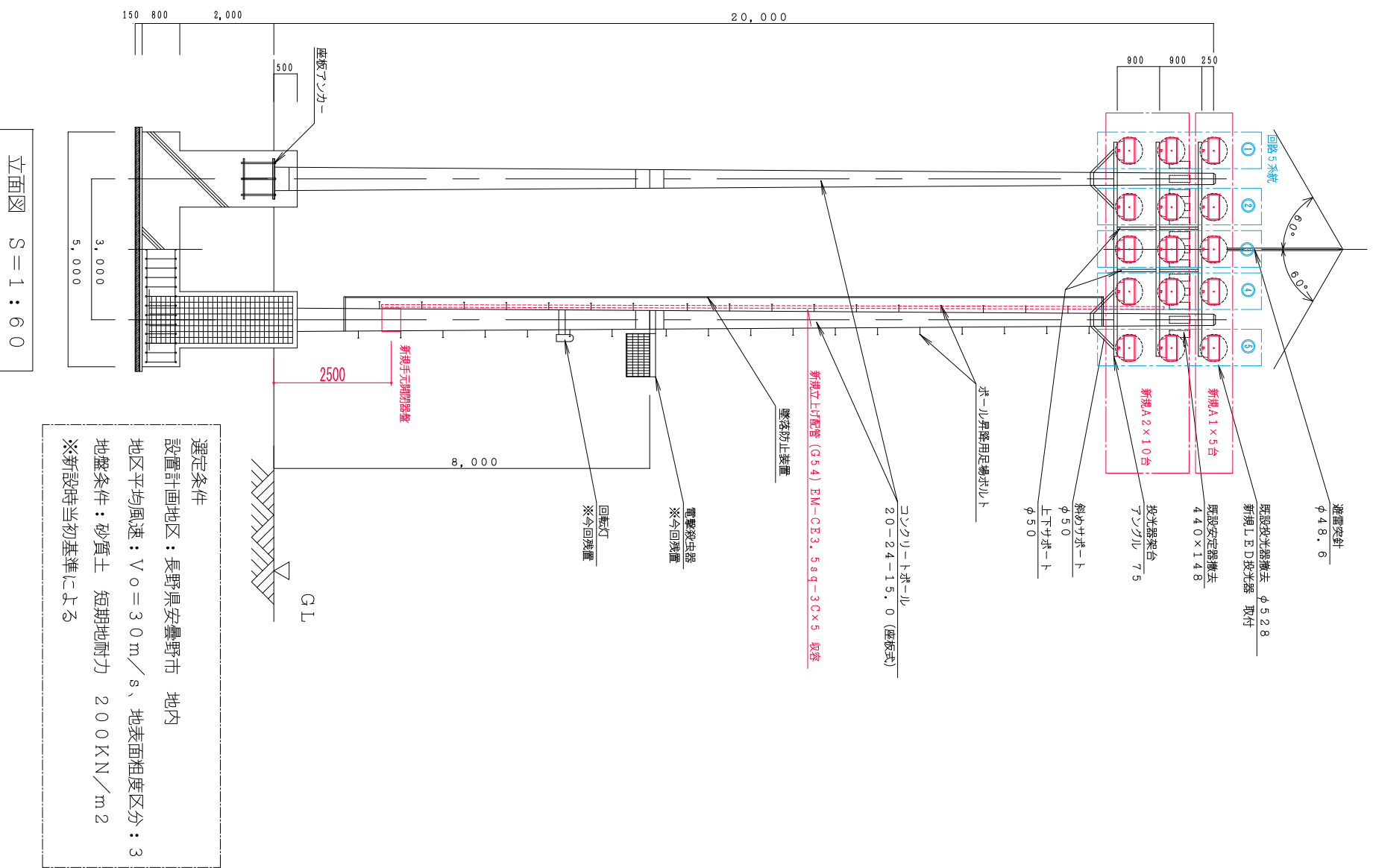


配置図 S=1/500

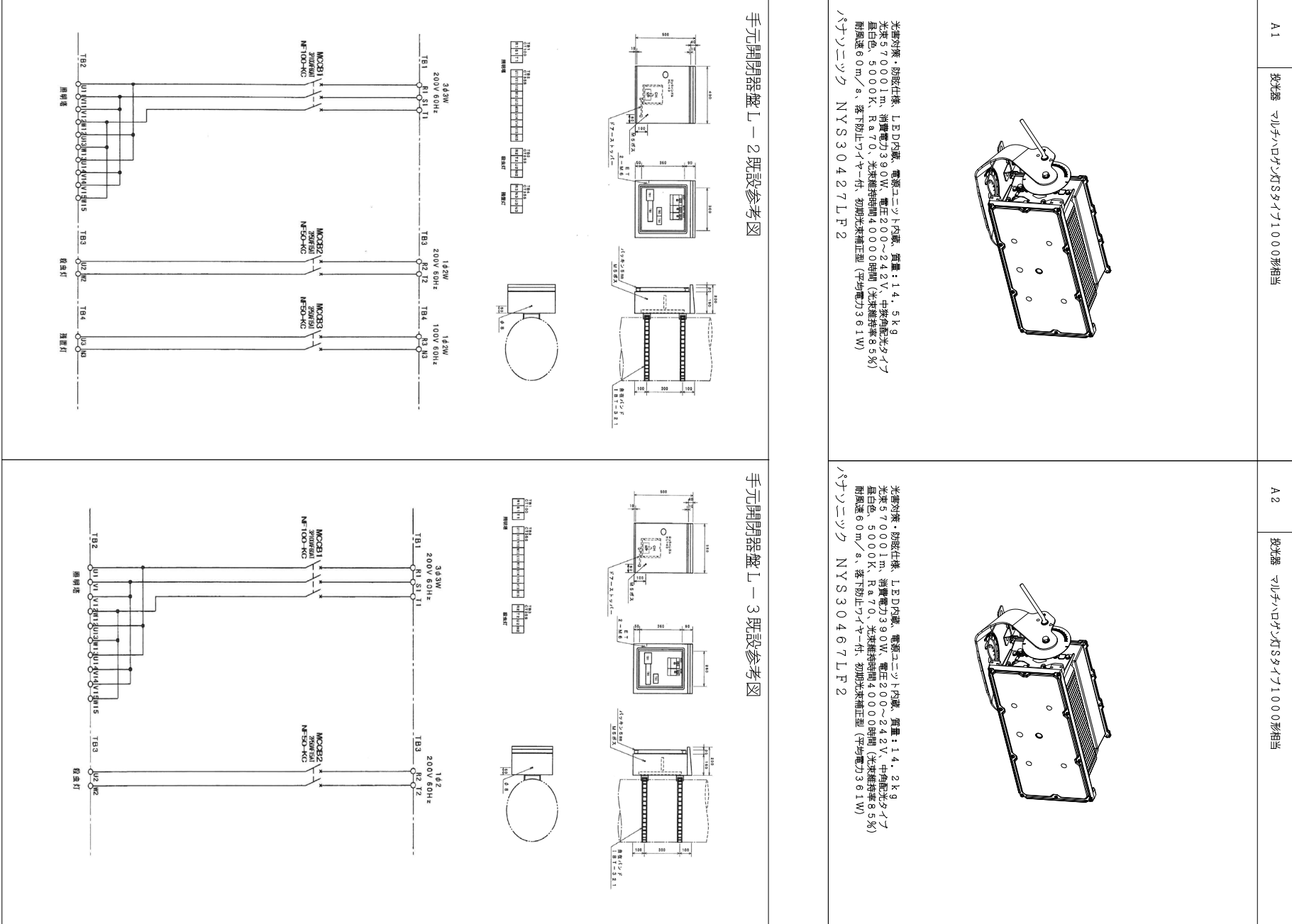


凡例	名称	仕様	数量	備考
■	既設照明柱 P1~P4	投光器最下段: H=L-20m 光源 M1000B × 10 NH940 - L × 5	4 基	新設 (架台再使用)
■	既設照明柱 K, B, F, G, H	投光器最下段: H=L-20m 光源 M1000B × 10 NH940 - L × 5	6 基	新設
■	手元壁	投光器、残照灯、殺虫器	4 面	新設
■	手元壁	投光器、殺虫器	4 面	新設
■	ハンドホール	900 × 900 × 900 (中継重鉄蓋付)	6 面	既設

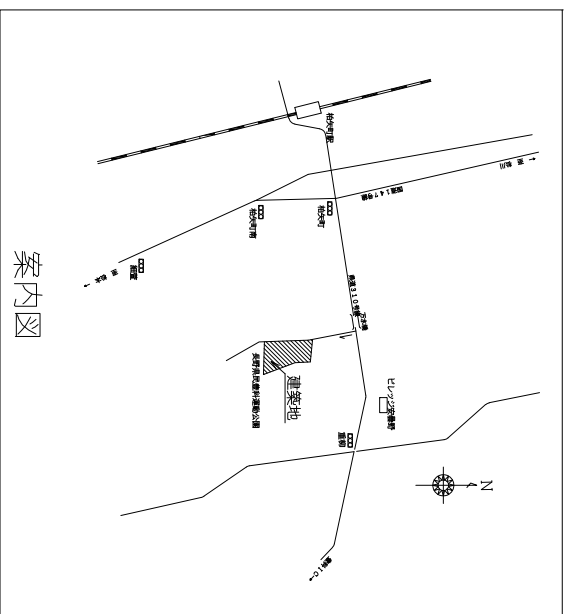
CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
			令和 3 年度 県民体育センター 照明取替工事	配置図・案内図	E - 02
SCALE				A1 1/500 A3 1/1000	DAY 2026.05.29.



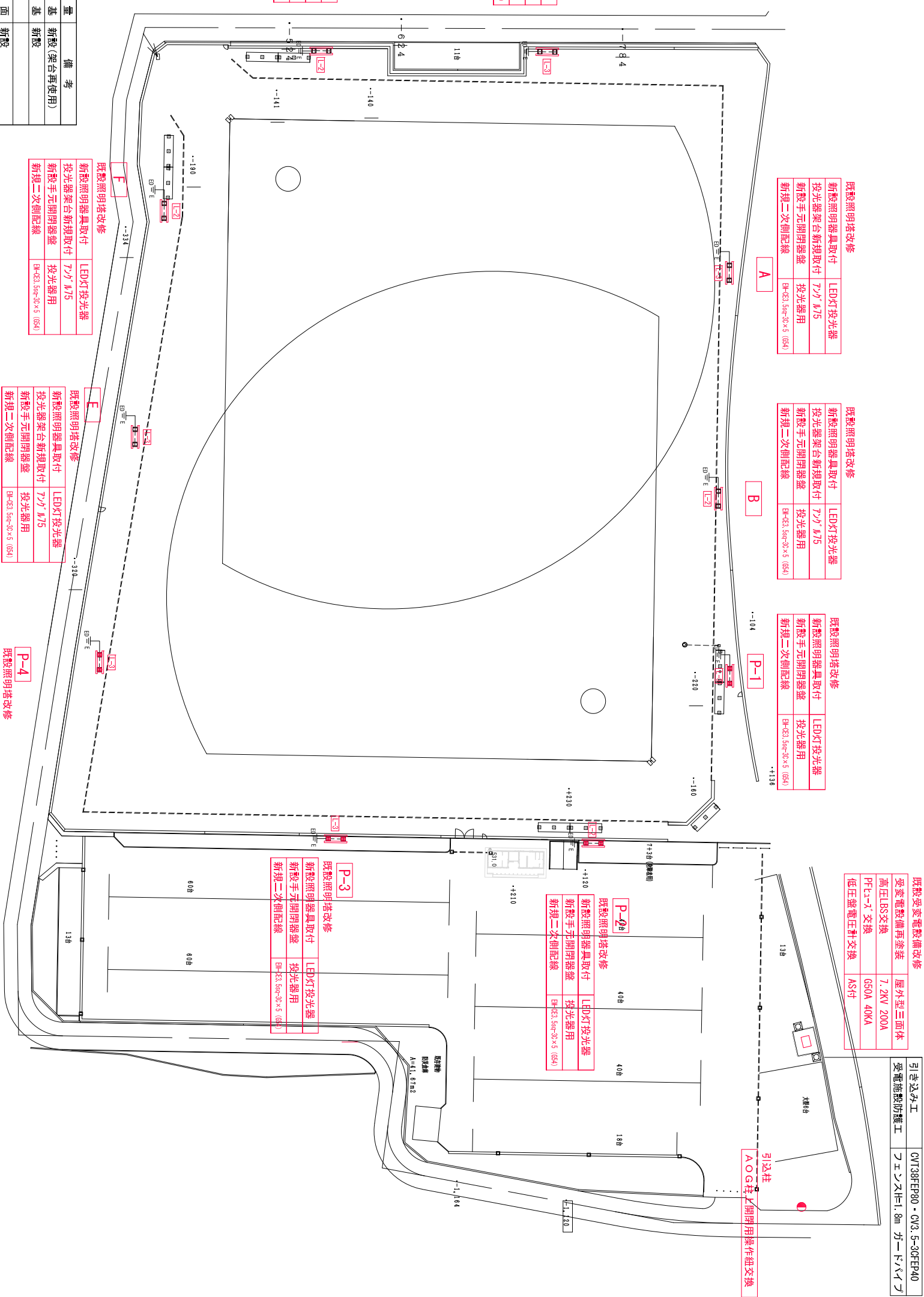
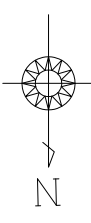
立面図 S = 1 : 60



CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
			令和3年度 県民センター運動広場 照明取替工事	照明塔詳細図・照器具図	E - 03
SCALE				No Scale	
				DAY 2026.05.29.	



案内図



既設受変電設備改修	引き込み工	CVT38EER90 - CV3 5-30EER40
受変電設備再塗装	受電施設防護工	フェンスH=1.8m ガードパイプ
高圧LBS交換		
PFレギュ交換		
低圧盤電圧計交換		
AS付		

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

既設照明塔改修

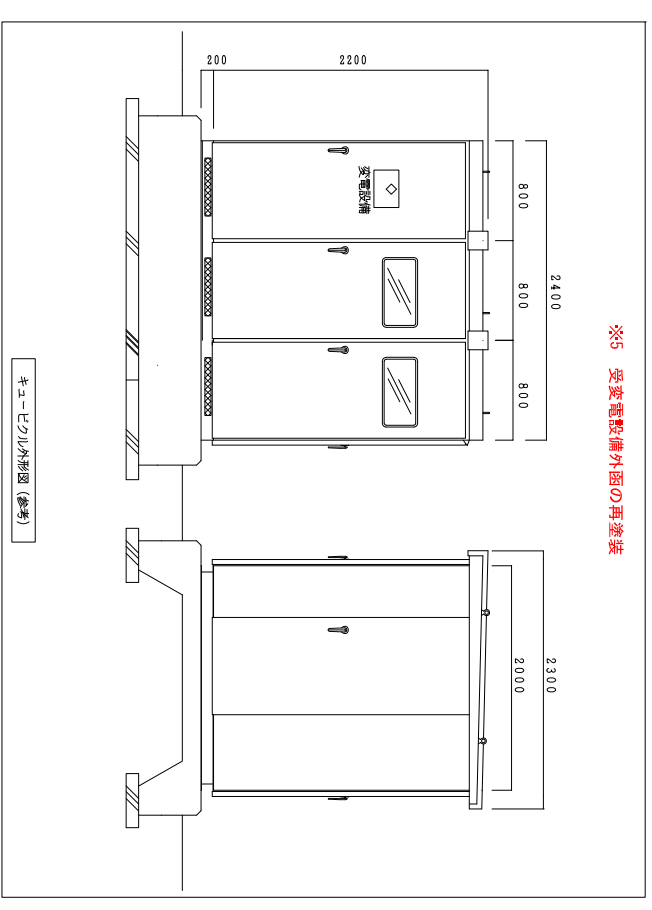
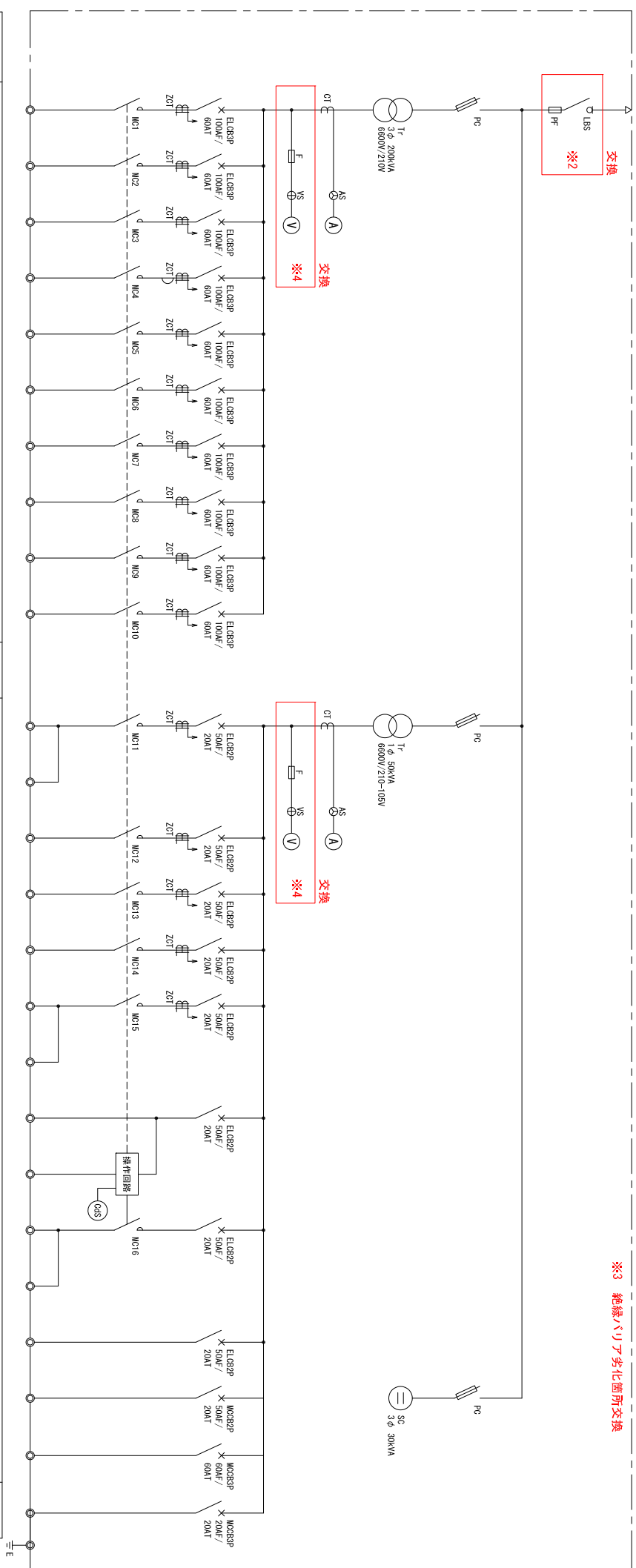
既設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	LED灯投光器
新設照明器具取付	777 M75
新設手元開閉器盤	投光器用
新規二次側配線	EH-E23 5sq-30×5 (6S4)

凡例

記号	名称	仕様	数量	備考
☐H	既設照明塔	H=GL+20m 光源 M1000B×10 NH940・L×5	4基	新設(架台再使用)
☐G	既設照明塔	H=GL+20m 光源 M1000B×10 NH940・L×5	6基	新設
☐E	手元盤	投光器、残置灯、殺虫器	4面	新設
☐F	手元盤	投光器、残置灯、殺虫器	6面	新設
☐D	ハンドホール	900×900×900 (中耐重鉄蓋付)	既設	既設
—	電線路	地中埋設配管 (FEP管使用) 土冠0.0m 一般工部	既設	既設
⊕E	雷保護接地	接地極銅板 900×900×1.5t	既設	既設
⊕D	雷保護接地	D種接地工事 連結式接地棒φ10×1500L	既設	既設

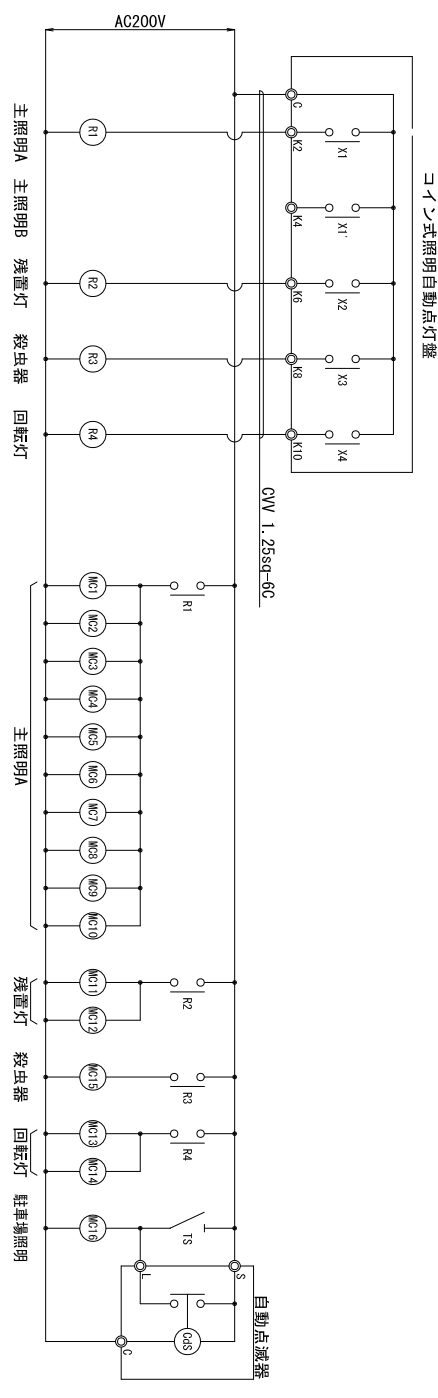
注) クラウド内には既設塔添上レノン子及び水道・電気・電子機器点等の埋設物が存在する。  
 深さ・位置が不明であるので高所作業車乗り入れの際には注意のこと。  
 クラウド照明及び駐車庫照明の運用方法については監督員と協議し決定のこと。  
 工事着手前に、電気保安管理者と協議のこと。

# 受電設備単線結線図 (今回改修後)



電	3φ 3W 200V										1φ 2W 200-100V													
	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC200V	AC100V	AC100V					
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-1	11-2	12	13	14	15-1	15-2	16	17-1	17-2	18	19		
回路名称	A柱	B柱	P-1柱	P-2柱	E柱	F柱	G柱	H柱	P-3柱	P-4柱	残置灯 (B柱)	残置灯 (P-2柱)	残置灯 (F-G柱)	回転灯 (B柱)	回転灯 (F柱)	殺虫器 (P-1-H柱)	殺虫器 (E-F-G柱)	点灯盤 電源	点灯盤 番号	駐車場 照明	駐車場 照明	所内電源	MOT電源 ホット電源	
負荷容量 (kVA)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	5.92 (15.300)	1.120 (1.120)	1.120 (1.120)	2.240 (2.240)	0.030 (0.030)	0.030 (0.030)	0.600 (0.600)	1.400 (1.400)	0.050	0.264	0.528				
注	59.5 (158.520)										※1 照明LED化に伴う容量変更													
ケーブルサイズ	(60sq-3C) (38sq-3C)		22sq-3C	22sq-3C	100sq-3C	100sq-3C	100sq-3C	100sq-3C	22sq-3C	38sq-3C	M1000B × 1	M1000B × 1	M1000B × 2	M1000B × 1	M1000B × 1	殺虫器 × 3	殺虫器 × 7	28sq-2C	1.25sq-6c	3.5sq-2C	3.5sq-2C	22sq-3C	5.5sq-3C	

## 操作回路図 (既設)

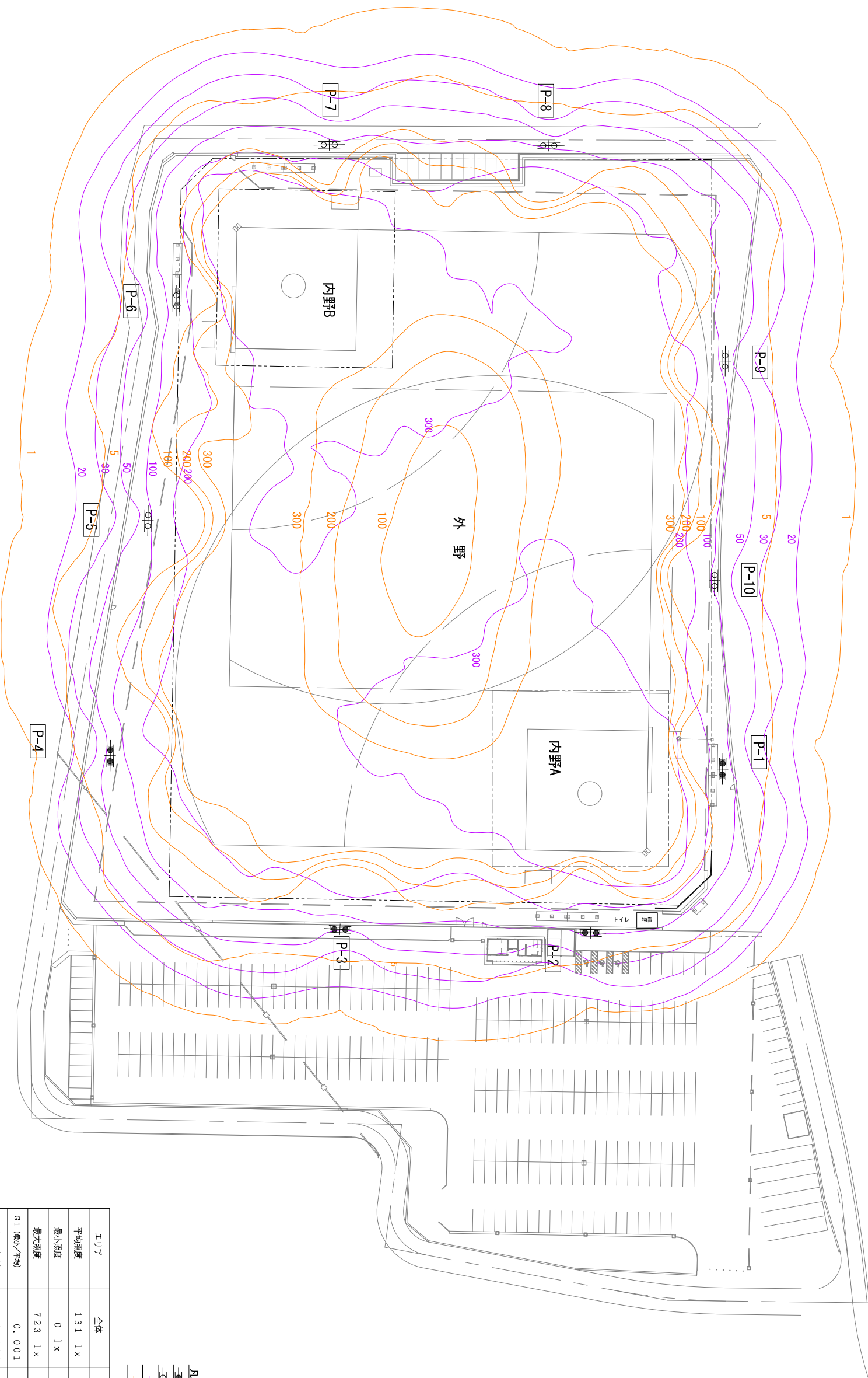


## 主な改造内容

- ※1) グランド照明のLED化に伴う変圧器容量等の見直し
  - ※2) 高圧LBS交換及びヒューズの更新 ※ヒューズは予備として1ヶ見込むこと
  - ※3) 受変電設備内絶縁バリアの交換
  - ※4) 低圧操作盤電圧計の交換
  - ※5) 受変電設備外函の再塗装
  - ※6) その他現地を確認し監督員と協議の上内線の張替を検討すること
- 注意点**
- 1) 各機器の電源電圧は、現地を確認のこと。
  - 2) 各機器の負荷容量は、承認図等により確認のこと。
  - 3) 残置灯台数は、現地を確認のこと。

# 照度分布図

S=1/500



設計条件	
運動競技	軟式野球
競技区分	皿 (レクリエーション)
被照面積	内野 1,600㎡×2 外野 17,210㎡
設計照度	3001×以上 2001×以上
保守率	LEDランプ 0.81

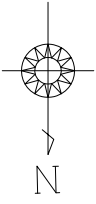
凡例  
 ● P-1~4 新設照明柱 投光器最下段:H=6L+20m (15台表柱) 4基  
 ○ P-5~10 既存照明柱 投光器最下段:H=6L+20m (15台表柱) 6基  
 〇 P-1~10 既存照度配光  
 〇 今回照度配光

エリア	全体	内野A	外野A	内野B	外野B
平均照度	131 lx	520 lx	288 lx	507 lx	279 lx
最小照度	0 lx	231 lx	30 lx	97 lx	26 lx
最大照度	723 lx	723 lx	685 lx	703 lx	683 lx
G1 (最小/平均)	0.001	0.445	0.103	0.190	0.092
G2 (最大/最大)	0.000	0.320	0.043	0.137	0.038

- 注 記
- 1.本図は水平面維持照度分布を示し、単位はルクス (lx) とする。
  - 2.照度計算レベルは競技面とする。
  - 3.被照明範囲は、[ ]内とする。
  - 4.投光器はすべて新設として計算した。

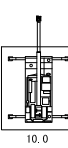
器具品番	NYS30427K-LF2	NYS30467K-LF2
器具種類	LED5000_85_57000	LED5000_85_57000
ランプ	57000 1m	57000 1m
全光束	57000 lm	57000 lm
保守率	0.81	0.81
器具コード	K0188778	K0188777
取付高さ	19 m	19 m
取付台数	50 台	100 台

CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
			令和8年度 県民体育運動広場 照明取替工事	照度分布図	E - 06
SCALE	A1 1/500 A3 1/1000			DWG 2026.05.29.	

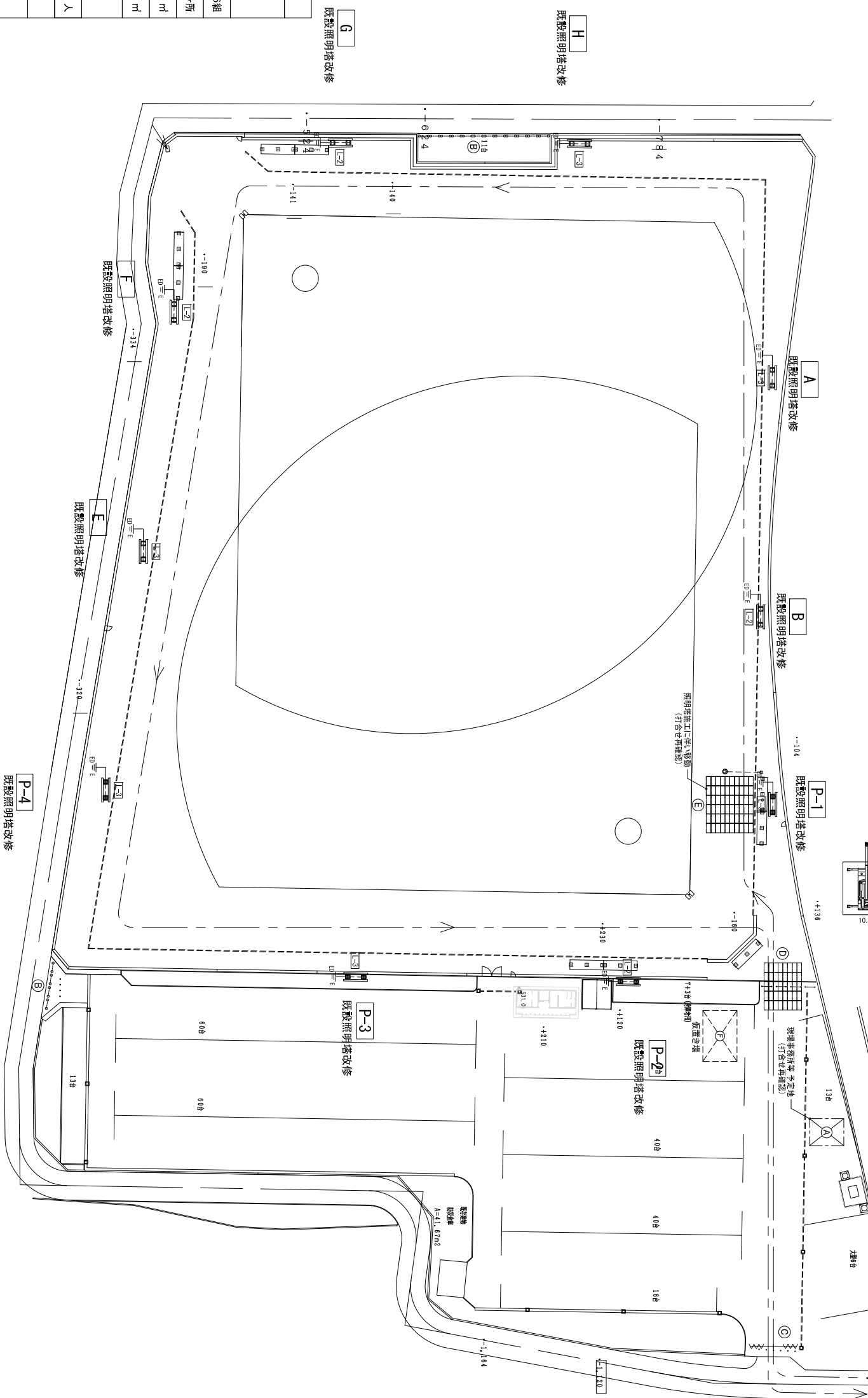


グラウンド平面

既設幅員11.0×10.0=110m<sup>2</sup>  
仮設幅員10.0×8.0=80m<sup>2</sup>



既設受変電設備改修  
屋外型三面体  
※打合せにより足場組を身込む



H  
既設照明塔改修

G  
既設照明塔改修

仮設項目	仕様
① 現場休憩所・仮設便所	サイズ・位置は、打合せによる。
② 仮囲い	A型単管/パイプ 1.8m 16組
③ キヤスターゲート	W=6000 H=2000 1ヶ所
④ 仮設脚指板敷き	グラント入りれ段差養生 110㎡
⑤ 仮設鉄板敷き	高所作業車昇降用 80㎡
⑥ 仮設材料置き場	組立式仮設ハクス 取り外し機器等仮置き サイズは、施工計画図・打合せによる。
⑦ 交通誘導員	10人
⑧ 工事車両動線	←-----

凡例 (以下の「建築工事」の仮設計画図を参考とする)

・隣接地から人が工事敷地内へ入らない様に仮囲いの計画に努めること。  
・車両乗り入れ(グラント)等、工事工程に発生する仮設鉄板敷きを身込むこと。  
・施工時に発生する処理材の仮置きスペースを確保し、各種表示板を設置する。  
・周辺のアスファルト及び側溝等の破損した箇所の復旧は本工事範囲とする。  
・安全の為、大型車両搬入時等、進入口へ誘導員を配置すること。  
施工計画、仮設計画等作成し、施工すること。

※上記計画を踏まえ、監督職員と事前協議の上、本工事の仮設計画を核討すること。  
※着手時に総合施工計画書を提出の上、監督員の承認を得ること。

CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
			令和3年度 県民センター運動広場 照明取替工事	仮設計画図	E-07
				SCALE A1 1/500 A3 1/1000	DAY 2026.05.29.